



Information12

今回は動物にとって避けてあげたい

身近なものについてです。



植物にも目を置こう！

花や茎、葉、球根などに毒がある植物

アサガオ・チューリップ・ユリ・アロエ・シクラメンなどがあります。



まとめ

これらを食べてしまうと

嘔吐や下痢、血便、呼吸困難やけいれんを起こし、

死に至ることもあるので注意が必要です！

もし、食べてしまったら・・・



「何を・いつ・どのくらい食べたか」

確認して、すぐ病院に電話をしましょう！

※持病を持っている子は、

これらのほかに与えないほうがいいものがあります。

誤食しないためには・・・

家庭環境を整えましょう！

そして、物を下に置かないなど、
その子に合わせた環境作りを！

代表例

危険

- ・ネギ類
- ・チョコレート



血液中の赤血球を破壊し、貧血になる
熱処理されていても毒性があるので注意！

犬猫はテオブロミンを分解、
排泄するのが遅いため残存し、心不全を起こす

要注意

- ・キシリトール
- ・ブドウ、レーズン
- ・生の魚介類、甲殻類



インスリンが大量放出され、低血糖・
最悪の場合肝障害を起こす

急性腎不全・高カルシウム血症などを起こす

チアミナーゼという酵素が
ビタミンB1欠乏症を起こし痙攣する

注意

- ・かつおぶし
- ・にぼし
- ・牛乳（人用）など



リンやマグネシウムといったミネラルが
豊富に含まれているので、取りすぎると
尿石症の原因になる

乳糖を消化できず下痢をすることもある
カロリーが高いため肥満の子は注意！

